

JDCA PRESS

Autumn 2015

vol.19

各コースのポイントをおさえて早分かり!

授業見学ツアー

JDCA のイベントに参加してみよう



特集 授業レポート・ベーシックレッスン

全国から個性集まる、17期生スタート!

JDCA PRESS

ディスプレイスクール情報誌「JDCA PRESS」

2015年6月発行 発行/ Japan Display Creator Academy

INFORMATION

●授業見学ツアーへのお申込みは下記をご確認ください

お申込み方法 いずれかでお申込みください。

- ・電話：045-441-5274 (10:00～17:30)
- ・FAX：045-441-0644 (24時間)
- ・Web：http://www.jdca.jp
- ・横浜ディスプレイミュージアム2階受付 (営業時間のみ)

お申込みの流れ

電話・FAX・WEB・横浜ディスプレイミュージアム2階受付のいずれかでお申込みください。

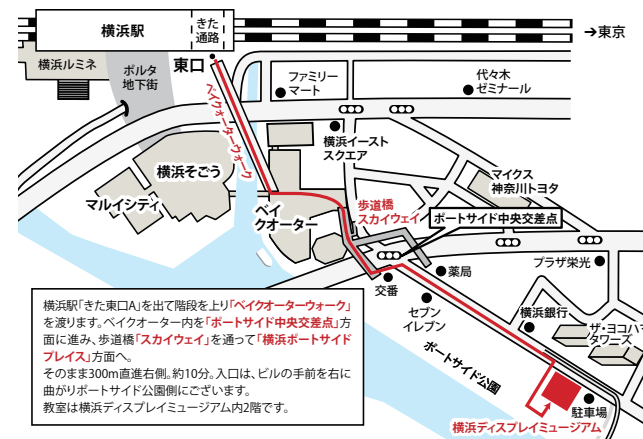
FAX・店頭受付の場合
お申込み書受理後、確認の連絡をいたします。
WEBの場合
自動送信メールをご確認ください。

注意事項

- (1) お申込み講座が定員に達している場合はキャンセル待ちとしてご案内させていただきますのでご了承ください。
- (2) 横浜ディスプレイミュージアム 2F 受付前に15:00集合となります。
- (3) 講座参加の際、長時間となりますので、会員様専用駐車場のご利用はご遠慮ください。

FAX・横浜ディスプレイミュージアム店頭用申込み書

お名前			
会員番号	※会員の方のみ記入	職業	
TEL		FAX	※講座情報のメール配信をご希望の方はご記入ください。
E-mail			
お申込み講座の希望日に☑チェックしてください。			
授業見学ツアーA1・A2 インテリアVPテクニック 大高講師 [無料]		☐ 7月11日(土)・☐ 7月14日(火) 両日共15:00～	
授業見学ツアーB1 フラワー店舗装飾テクニック 館講師 [無料]		☐ 8月8日(土) 15:00～	
授業見学ツアーB2 フラワー店舗装飾テクニック 本間講師 [無料]		☐ 8月25日(火) 15:00～	



ジャパンディスプレイクリエイターアカデミー

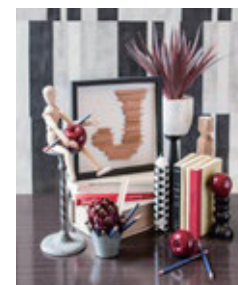
横浜市神奈川区大野町1-8 アルテ横浜
(横浜ディスプレイミュージアム内)
TEL: 045-441-5274 (平日 9:30～17:30)
※土曜日は授業日のみ受付
FAX: 045-441-0644
URL: http://www.jdca.jp
E-mail: info@jdca.jp (24時間受付)

ツイッターで
つぶやき中!



JAPAN DISPLAY CREATOR ACADEMY

表紙のスタイリング



“身近にアートを楽しむ” オータムディスプレイ

クリエイターの机の引き出しには… 短くなくても愛着のある鉛筆がたくさんあるのでは? そんなイメージから作ったのは、“色鉛筆のアルファベットフレーム”
素朴な色鉛筆のカタチに、モダンな幾何学模様を組み合わせ、グロス感のある赤のりんごをアクセントにしたスタイリング。身近なモノで、気軽にアート気分を楽しむディスプレイ。

素材: アートフレーム・キャンドルスタンド・フェイクフルーツ (アーティチョーク、りんご)・手帳・アガベポット/横浜ディスプレイミュージアム
デッサン人形・幾何学ペンケース・洋書・色鉛筆/スタイリスト私物
※写真中にある書籍 [Display Creator's Handbook] は、JDCA の授業で使用する貴重なバイブル。ディスプレイクリエイターとしての必要な基礎知識が、全 170 ページに収められています。

スタイリング・前田博美 (JDCA 講師)
写真・永谷賢一

特集 授業レポート・ベーシックレッスン

全国から個性集まる、17期生スタート！



チャレンジコースはこのベーシックレッスンで修了です。約二か月の期間はあっという間。もつとやりたい！と感じる方も多く、今期もキャリアアップコースやライセンスコースに編入される方が多くいらつしました。目的や生活環境に合わせてコース

**現状満足からは卒業！
一大決心して学びの場へ**



青山 春美さん (57 歳)
北海道

27 歳の時に北海道で写真館を起業。現在は写真館と併設したカフェレストランの運営、スイーツ製造販売まで手掛ける会社経営者。2 年前のギフトショーで偶然 JDCA の存在を知る。何度か授業体験などを受講した上で、思い切って入学を決意。毎回、授業前日に横浜入りし、飛行機通学を現実化。
*チャレンジコース→キャリアアップコースへ編入

を選択できるシステムは嬉しいですね。(※コース詳細は次ページ参照)
さて、授業のひと段落を終えたところで、個性豊かな三名の受講生にお話を伺えましたので、それぞれの旬な声をお伝えしたいと思います。

Q 飛行機通学してまで入学を決めた理由は？
「やはり、超遠距離通学を決意するのはかなり悩みました。今まで仕事をずっと続けてきて、きちんとした知識は必要であるところかを感じてはいたんです。でも展示会では、自己流でもそれなりに評判が良かったので出来る気になっていたのかも。JDCAを知って授業体験を受講した時、自己流を脱したい！と心が動いたんです。月に何度かは東京に行く仕事があったので、予定を少し追加するだけ、と自分に暗示をかけて(笑)。社員には授業初日の前日に、

「明日から横浜に週1回勉強しに行きます！」って宣言したら、みんな驚いていました(笑)。今日でベーシックレッスンを終えますが、更なる可能性の広がりを感じて編入を決めました。JDCAで出会った新たな職能(デコレーター)を夢見て次のステップも全力投球です！」



集合して講義を聞く時は、必ず最前列で真剣な青山さん。

4 月から新年度がスタートし、十七期生となる受講生が全国から集まりました。そしてこの〈全国から〉、というのが従来のスケールを超えてしまい、なんと！北海道、和歌山県からの飛行機通学者が登場したのです。他にも大阪、静岡からの新幹線通学者もあり、群馬や千葉からの受講生は「関東圏の私たちは近いのね…」と苦笑いするほどに。遠方の方はもちろん、それだけの覚悟と志を携えて通学されるので、その意気込みはクラスに良い刺激となって活気を与えてくれています。

今回は「ベーシックレッスン」の最終章「ショーイング」の授業に潜入し、受講生の声を交えながら授業の様子をお伝えいたします。「ショーイング」では、これまで学んできた基礎課程を踏まえ、一人ひとりのウィンドウを一日で仕上げます。基本の企画プランとショーイング構成をベースに、個々で設定した商品を展示するのです。午前中は教室内でシミュレーションし、講師の指導を仰ぎます。商品の種類もアドバイスも個々に異なるので、自分の番が終わっても、



完成ウィンドウの前に、ショーイングのチェックポイントを確認して完成度を高めます。

みなさん講師の言葉に集中していますね。ちよつとした事で変わる表現力やその効力など、数々の現場を経験している小山講師ならではの指導、さすがに説得力があります。午後からは現場で本番！実店舗内にあるウィンドウでは、時間内に効率よく作業を進めなくてはなりません。課題点を午前中のうちに、きちんと解決しておく必要があるのですね。ランチを終え、いよいよウィンドウにショーイング作業です。空調の効いている教室と違って、ウィンドウ内は照明の影響もあつて狭くて暑い！全体のバランスは、いちいちガラスの反対側に立たないと把握出来ないで、慣れない初心者にとっては、小さなウィンドウであっても結構な努力なのです。授業終了時には「疲れたー！」と言いながら満足気な笑顔がたくさん見られました。こういったリアルな仕事の現場感を初めから体験できる環境は、実践的な感覚を身につける最短コースのようです。完成したウィンドウを一つずつ講師が総評して回り、クラスメイトのウィンドウを見ながらまた、たくさん気付きが生まれるのだそうです。

**職場でさっそく効果を発揮！
説得力が身についています**



富 さゆりさん (31 歳)
東京都

生活雑貨店勤務 9 年目。現在は副店長を務める。新人スタッフを指導する立場となり、論理的な基礎知識が必要と感じ、基礎からディスプレイを学ぶために JDCA に入学。専門的なスキルがさらに必要と感じ、テクニカルレッスンVMDの受講を志望。店の繁忙期(6 月)にもかかわらず、編入を決意。
*チャレンジコース→キャリアアップコースへ編入。

Q スタッフへの指導において、変化はありましたか？

「もう歴然です！今までは、理解できないとなかなか動いてくれないスタッフもいたのですが、ベーシックレッスンで学んだことを早速活用しながら伝えると、すんなり理解できたようで(笑)。楽しそうにディスプレイに取り組んでくれるようになったんです。知識が持つ説得力の偉大さを痛感しました。私の中でも漠然としていたことがクリアになっていて、身についているなあ、と実感しています。もつと専門的なスキルも必要だと気付いたので、思い切つてこの後編入も決めました！」

Q 受講料は問題ない？

「事前にちゃんと確認できるし、材料費込みでもあるので納得の費用だと思っています。」

Q 苦手な授業はあった？

「もともと絵を描くのが嫌いだったので、パ



富 さゆりさん(左)と甘粕千佳子さん(右)元同僚同志で仲良く入学。お気に入りのナチュラルローソンでランチを購入して教室内で食べるのが楽しみに。

スの授業は苦労しました。でも増田講師のおかげで、描くことが少し身近になったかも。スケッチする習慣をとり入れようと、ミニノートを購入して持ち歩いているのですが、まだ、持ち歩いているだけです(苦笑)」

Q アフタースクールでは？

「横浜駅や立寄り駅で、百貨店や専門店を眺めながらディスプレイをチェックするようになりましたね。友人の甘粕さんとはベーシックレッスンでお別れなので、今日はこれから元町ディナーをしようと話しています！」

JDCA各コースのポイントをおさえて早分かり！

当校は、目的によって選べるコース制となっています。各コースは「ベーシックレッスン」「テクニカルレッスン」「マスターレッスン」という3種のカリキュラムで構成されています。基礎から体系的に学ぶことで、スムーズなスキルアップを計れるのが特徴です。

チャレンジコース (4月～5月)

気軽に始められるショートコース。
ディスプレイの基本理論から、制作、実習まで、
楽しみながら体系的に学習します。

ベーシックレッスン

キャリアアップコース (4月～9月)

ディスプレイにおける、2種の専門分野[VMD]と
[フラワーディスプレイ]のスキルを身につけて
キャリアアップを目指します。

ベーシックレッスン

テクニカルレッスン [VMD]

テクニカルレッスン [フラワー]

ライセンス取得コース (4月～11月)

ディスプレイクリエイターとしての
トータルワークを身につけ、ライセンス取得に
不可欠なスキルを習得します。

ベーシックレッスン

テクニカルレッスン [VMD]

テクニカルレッスン [フラワー]

マスターレッスン

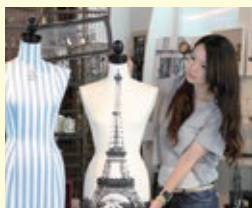
事務局の
山口が
解説します！

ここが
POINT!

チャレンジコースは受講料
14万円。受講料には制作
花材や資材費が含まれてい
ます。編入も可能なので、ま
ずはチャレンジコースからス
タートという方が近年増えて
いますよ！

テクニカルレッスンは
「VMD」「フラワー」の
どちらか、もしくは両方
とも選択して受講するこ
とができるんですよ。

テクニカルレッスン [VMD]



ファッション・フード・
インテリア雑貨のカテ
ゴリをテーマに、商品
演出や売り場づくりに
関するテクニックを実
践的に学びます。

テクニカルレッスン [フラワー]



さまざまな空間を想定
しながらフラワーデザ
インをイメージしていく
手法や、デザインを実
際に具現化していく手
法を学びます。

7月・8月限定授業体験

授業見学ツアー開催します！

実際のレッスンを体験できる「見学ツアー」を開催します。今回対象のレッスンは「インテリアVPテクニック」「フラワー店舗装飾」の2種類です。どんな感じで授業が進行しているの？実習ワークってどんな感じ？など、興味のある方はこの機会にご自身の目で見て感じてください。

スクールに興味のある方、
お気軽に参加して
くださーい!!

テクニカルレッスン [VMD]

インテリアVPテクニック

A1 7月11日(土) 講師：大高 啓二

A2 7月14日(火) 講師：大高 啓二



講師：大高 啓二

五感で捉えた「空間デザイン・売り場づくり・ディスプレイ」をプロフェッショナルとしての視点で、プランニングからディスプレイ実施までトータルの学ぶレッスンです。見学ツアーでは、インテリア&雑貨売り場を想定した、横浜ディスプレイミュージアム店内のVPステージ上のディスプレイ設置実習を見学いただけます。

※同一内容のレッスンとなりますので、どちらか1日限りの参加となります。

テクニカルレッスン [フラワー]

フラワー店舗装飾(テクニック)

B1 8月8日(土) 店舗装飾 (ホテル・レストラン)

講師：館 美奈子

B2 8月25日(火) 店舗装飾 「和空間」

講師：本間るみ子



講師：館 美奈子



講師：本間るみ子

近年高まるフラワーディスプレイの需要。商空間のさまざまなシチュエーションに応じたフラワー装飾の技法を習得できるレッスンです。見学ツアーでは、フラワーデザインの制作と設置実習を見学いただけます。

Q入校を決めたきっかけは？

「VMDにまつわる講座を検索していたらJDCAの(カラーコーディネート講座)にたどり着いたんです。そこで空間におけるカラーコーディネート術を学んで、そこからディスプレイに対して俄然興味が深まりました。」

Q入校前と後で、ギャップはあった？

「初回授業では海外事例をたくさん学んで夢がワァーッと膨らんで、次の授業ではプロダクション制作。お花やグリーンを使った演出物の製作だったので正直、VMDとどう結びつくのが疑問でした。でも段階的に授業が進んでいくと、ディスプレイワークでの必要性が理解できたので、実践的なカリキュラムだったんだなと、今は納得しました。」

Q苦手な授業はあった？

「図面には苦労しました。なかなか理解できなくて。人にもなかなか聞けなかったのですが、

Qウィンドウの完成度は？

「点数つけるなら60点。甘く考えていましたね。やりたいことの半分しかできなかったです(苦笑)。でも、目標はどんどんクリアになってきたので、引き続きがんばります！」



鯨島君の完成作品
ウィンドウテーマ「アーバンリゾート」
ウィンドウディスプレイを通じてディス
プレイワークの基礎を学びます。



鯨島 良介さん (23歳)

横浜市

アパレルでの派遣時代にVMDを知る。物づくりが好きで製造業の企業に就職したが、製造作業にあき足らず、もっと自分の感性を活かせる仕事をしたいと必要なスキルを模索中。将来的にはディスプレイの仕事に就くことを目指す。

*キャリアアップコース受講中

ベーシックレッスンの授業で学べること

第一歩となるディスプレイの基礎知識を学び、クリエイターの職能や業界トレンドの必要性などの心得を習得します。

その後、実際のディスプレイワークを想定した実践的なカリキュラムで

1人ひとりのウィンドウを使用してシーズンディスプレイを完成させます。

企画デザイン



ベーシックでは基本の想定プランをもとに、プランニングの考え方を学びます。



企画書として必要な図面・パースといった表現手法を学び、描き方・縮尺・遠近法の重要性も養います。

制作



季節の演出にかかせないフラワー&グリーンのアーティフィシャル素材の特性を理解してフラワーデザインとアレンジ技法を習得。



さまざまな素材とその加工方法を学び、背景パネルの制作を行います。

設置・ショーイング



制作した小道具で、1人ひとりのウィンドウに設置実習。基本のショーイング構成を元に、美しく、安全に、効率的にウィンドウを完成させます。

完成



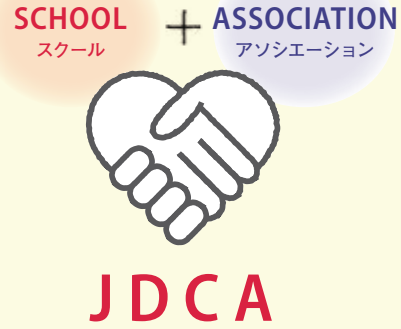
完成したウィンドウは、講師からの総評とショーイングのチェックポイントを確認して手直しをし、ウィンドウ展示されます。

仲間との交流で、
自分が成長しているのを実感

クリエイターの集まる
JDCAって？

ディスプレイクリエイターを育成する「ジャパンディスプレイクリエイターアカデミー」と、そのクリエイターライセンスを通じてプロの人材をネットワーク化した組織「日本ディスプレイクリエイター協会」は、共にJDCAの呼称として幅広くPR活動を行っています。

昨年創立十周年を迎え、本年はさらに協会の認知度を高め、活動を強化。クリエイターとして必要なマーケットトレンド情報やスキルアップのための勉強会をはじめ、活躍しているクリエイターのワークスキルが学べるトークショーや交流会等、さまざまな視点での活動を計画しています。



活動内容

Creating Labo
クリエイティング・ラボ



ディスプレイクリエイターのための講座
やワークショップ

Sharing Trend
シェアリング・トレンド



国内・海外における
マーケットトレンドの視察や
分析レポートの発信

Valuing Network
バリューイング・ネットワーク



ディスプレイクリエイターの
交流・コミュニケーション
ゲストスピーカートークショー

女性アートディレクター佐藤氏による
トークショー & 懇親会 開催決定！

伊勢丹のアートディレクターとしてディスプレイ業界での多彩な活躍が注目されている、
佐藤寧子さんをゲストスピーカーに迎えて、トークショー&懇親会を開催します。

特別講演

今をときめく女性アートディレクターが語る
「ショーウィンドウからコミュニケーションを生み出そう！」

ディスプレイで最も重要なのは～空間を通してメッセージを伝える～こと。ディスプレイデザインは、単に発信側にとっての美を創造するのではなく、街行く人の目に留まり、共感を生み、心に残る…というコミュニケーションを生み出すことが役割だと考えます。
クライアントが伝えたい最終のメッセージからテーマを作り、ストーリーやユーモアなどの伝達手法を考えてデザインをする。佐藤さんがこれまで手がけてこられた、ディスプレイデザインの作品事例をご紹介しながら、コミュニケーションを生み出すメッセージ作りからデザイン具現化までのプロセスを紐解きます。ディスプレイ・デザインの魅力を存分に感じてください。



講師プロフィール
佐藤 寧子 Yasuko Sato

(有)プランクス代表 / 伊勢丹アートディレクター
ユーモアとストーリーのある空間づくりをモットーに、百貨店やラグジュアリーブランドのショーウィンドー・VMD等のディレクションやデザインを行う。2008年より新宿伊勢丹のアートディレクターとして活躍中。

ナビゲーター

大高 啓二
日本ディスプレイクリエイター協会理事
ジャパンディスプレイクリエイターアカデミー講師



開催日時決定！

日程：2015年9月19日(土)
トークショーイベント 15:30～17:00
懇親会 17:30～19:30

場所：横浜ディスプレイミュージアム 2階カルチャールーム

トークショーイベント&懇親会の詳細、お申し込み方法については、
7月中旬にJDCA ホームページ、
横浜ディスプレイミュージアム店内告知等で発表します。
お申し込み受付は、7月21日(火)より承ります。



©ISETAN MITSUKOSHI



懇親会

トークショー終了後に、引き続き同会場
懇親会を行います。理事・講師に加え、さ
まざまな分野で活躍されているゲストもお招
きする予定です。同業種だけでなく、異業
種間での情報収集や意識改革、新しい分野
を模索していただくための場として、懇親を
深めてください。



お知らせ

第12回国際フラワーEXPO (IFEX) 専門セミナーにおいて、JDCA 理事・講師の二宮一司氏と大高啓二氏の二人が、VMDという視点での売り場づくりセミナーを行います。

タイトル：VMD業界のプロフェッショナルに学ぶ、次世代型店舗の作り方！生花・園芸店

日程：2015年10月16日(金) 14:30～15:30 (60分)
会場：幕張メッセ
参加費：無料
詳細はIFEX ホームページをご覧ください。(8月中旬掲載予定) <http://www.ifex.jp/se/>

二宮 一司講師

ディスプレイデザインを軸に広い視
野から店舗のプランニングワークを
担う空間ディレクターとして活躍中



大高 啓二講師

VMD事業に五感に訴える音・光・
香のデザインをプラスする五感クリ
エーターとして幅広く活躍中

2015年度 第1弾 Creating Labo 2015/06/06 (SAT)
「Japan Identity Display」セミナーレポート

2020年東京オリンピック開催に向けて、「日本人らしさ」を再認識すべく
ディスプレイとして表現していくには？をテーマにクリエイター講師の視点を
もとに勉強会を行いました。



まずは野村講師による「日本人らしさ」の
マーケティング考察に加え、日本の伝統
や文化を空間に取り入れている大型商業施
設や店舗をご紹介。外国人がイメージす
る日本のカラーってなんだ…？なんと桜を
連想するピンクが上位にくるそうです！



続いて、田中講師による日本らしさを
表現する素材「つき板」の特性や
用途を勉強。内装材として、床や壁
面・家具などにも活用されているん
ですね。ほかの素材と組み合わせても
活用範囲が広がります。



素材の特性を活用して、田中講師がイ
メージする「つき板ディスプレイ」が
登場！参加者のみなさまは興味深々。

セミナー後に、抹茶ラテとお菓子を
いただきながら勉強したアイデア
を参加者と共有。「つき板」のサン
プルもいただき大満足でした♪

